

## J・C・ベリーと柴原宗助

金澤豊治

J・C・ベリーはアメリカン・ミッションボードの宣教師として、明治5年に来朝してより明治26年に帰国するまで、神戸・岡山・京都において、医療・衛生・教育またキリスト教の布教のうえに数々の業績を残した。今回演者が報告するのは明治13年7月18日、岡山県高梁第一安息日学校の開校に際して、ベリーが寄せた自筆の祝詞についてであり、同校の開設者であった演者の曾祖父である柴原宗助が終生愛蔵していたものである。

岡山県令高崎五六の招きに応じて、ベリーが岡山に移ったのは明治12年4月であった。ベリーは県立病院で西洋医療の診療を行うかたわら、開業医の教育をも行い、さらに倉敷・高梁・総社等に診療所を設けて、巡回診療を行い民衆の信頼を得た。同時に岡山をはじめ県下の諸所に日曜学校を開いて布教を行い、明治13年10月には岡山キリスト教

会を設立した。柴原宗助とベリーとの出会いはこの頃と思われる。

柴原は弘化4年5月27日、岡山県後月郡井原村の柳本家に生まれ、幼時より阪谷朗盧・鎌田玄溪・西達三郎らについて漢学を修めた。長じて中村敬宇に洋学、松村介石に宗教学・神学を学んだ。柴原が社会的に活動を始めた当時は、全国的に自由民権の思想が湧き上り、国会開設の請願・民選議員選出の運動が抬頭しつつあった時であった。明治12年岡山県会が開設され、柴原は初代の議員に選出され、明治13年には高梁町々会議員となった。

明治12年、ベリーが岡山にきて布教活動をするのと相前後して、金森通倫も岡山にきて伝道を行っていた。柴原はベリーや金森と相識り、キリスト教にひかれて遂に明治15年には金森より洗礼をうけるまでになった。

ベリーは柴原の援助により、高梁町新町の旅館重屋の一室に仮診療所を開いた。柴原は明治13年高梁の片原町森島宅に高梁第一安息日学校を開校して、7月18日開校式を行った。その際、ベリー・水野鍊太郎・金森通倫の祝詞が寄せられた。恐らく式典に参加したものと思う。柴原はこれ

らの祝詞に自筆の式辞を加えて、一卷の巻物として愛蔵した。これを読むと、ベリーの宗教的信念をよく伺うことができる。しかし高梁は当時、封建的階級意識や切支丹禁制の思想もまだ根強く残っていた。明治14年には町民により高梁キリスト教会に対する暴動事件が起き、教会は破壊され信者が負傷するという事件が起きた。柴原は祖先以来の家業である酒造業を廃してまで、キリスト教に帰依したが、ついに新島襄の勧誘により、明治19年、京都に移住し寺町丸太町上ルに住み、同志社学校の書籍の海外直輸入の店を開いた。その後も同志社学校教授浮田和民について政治・経済・歴史を学んでいる。現存する新島襄の手紙によれば、三本木の茨木屋での会合に招待されており、当時同志社病院のベリーとも交遊があったものと思う。

柴原はその後、郷里に帰り明治31年には井原町長に、さらに上房郡有漢町長におされたが、明治42年3月高梁で没して高梁キリスト教墓地に葬られた。

次にベリー自筆の祝詞とこれを金森通倫が翻訳した日本文を記す。英文の転写をしていただいた同志社大学教授・杉井六郎氏及び終始助言をいただいた杉立義一氏に感謝し

ます。

To my dear Friends in Takahashi,

Please accept my congratulations on the organizing of the first Sabbath-School in Takahashi. Since the time when Christ said "Suffer little children to come wite me" and again "Search the Scriptures for in them ye think ye have eternal life; and they are they which testify of me", the study of the Bible has been regarded as one of the first steps for the Chritian, both old and young; and experience has shown that there is no better way of doing this, publically, than in the Sabbath-School. Its importance to the wilfare of the community and of the individual is universally recognised in Christian lands, leading the best and greatest men to take an active part in the work of the school.

I confidently expect from this organization the outgrowth of influences which will benefit your com-

munity in many ways, as well as help you, individually to acquire at an early day, that knowledge of the Holy Scripture so essential to an intelligent faith and a strong Christian character.

With my earnest prayers for your success are united those for the early organization of similar institutions in outlying villages where the Holy Bible, whose Author is God, whose Matter is Truth and whose End is the Salvation of men, may be early and carefully studied by the people.

J.C. Berry

Okayama,

July 13, 1880

### 祝 高梁第一安息日学校設立

高梁第一安息日学校之設立アルヲ聞キ欣喜三堆へズ一片ノ  
祝詞ヲ述ント欲ス兄等若シ其意ヲ取りテ其文ノ拙劣ナルヲ  
笑フナクンバ幸又何ヲカ此ニ過シ  
回顧スレバ昔教主在世ノ時ソノ弟子ニ向ヒ童兒等ヲシテ我  
ニ至ルヲ禁ズル勿レ又猶太人ニ向ヒ汝等聖書ヲ尋子ヨコレ

其内ニ永世アリト思へバナリ然レモコレ等<sup>等</sup>ハ。我ニ付テ証  
スルモノナリトノ教論アリシヨリ爾來聖書ノ研究ハ基督教  
徒心胆練磨ノ術ニ於テ決シテ欠ク可ラザルノ要務トナリ而  
テコレヲ一般ニ施スノ法方、安息日学校ノ設ヨリ<sup>レモナシ</sup>優<sup>レ</sup>ソレ  
斯ノ安息日学校ノ各自ノ安寧社会ノ治安ニ関シテ必用欠ク  
可ラザルノ設タルハ当時基督教ヲ奉ズル邦国ニ於テハ既ニ  
己ニ衆人ノ知ルトコロトナリ下等社会ノ愚夫愚婦ヨリ上等  
紳士ノ社会マデ皆俛焉ココニ従事セザルモノナキニ至レリ  
今余ガ高梁兄弟姉妹ニ冀望スルトコロハ尊地ノ学校ヲシテ  
独り兄等ノ信心ヲ養生スルノ教場タラシムルノミナラズ押  
テ以テ高梁市民ノ燈明台トシソノ余光ヲ近村ニ及シソノ民  
ヲシテ真神ノ聖靈ニヨリテ告示セラレタル救世ノ真理ヲ記  
載セル聖書ノ恩澤ヲ蒙ムラシメンコトヲ、コレ余ガ天父ニ請  
願シテ止マザルトコロナリ

明治十三年七月十八日 シヨソ、シ、ベルリ

(京都市)